

平成29年度活動報告

平成29年度の活動について報告します。従来の事業に加え、下記の活動を行いました。

1. 平成29年度の新たな活動

(1) 組織

事務局体制の強化として事務局長の新設、事務員の正職員化・増員を図りました。

(2) 会員サービスの充実

1) スキルアップ支援体制の整備・強化

①「事業承継支援専門家養成研修」

②研究会活動の充実

本年度は新たに2つの研究会が立ち上がり、15の研究会が活発に活動しています。

(3) 財政基盤の整備・強化

1) 「業務仲介規定」策定

県協会経由で受託案件について協会運営費を協会及び受託者に納入する「業務仲介規定」を定めました。

(4) 連携活動の強化他

1) 行政・金融機関との連携イベント

①さいしんビジネスフェア2017

②彩の国ビジネスアリーナ2018

2) 第二次中期経営計画の策定

第二次中期経営計画(平成30～32年度)を策定しています。

2. 「事業承継支援専門家養成研修」

平成29年に、全7回の「事業承継支援専門家養成研修」を上期と下期で2回開催しました。関東近県の8県から2回合わせて80名が参加しました。

事業承継支援の重要性が益々高まっていることを踏まえ、事業承継の課題を抱える中小企業に対して、総合的に支援する能力を養成することを目的にしたものです。中小機構等で活躍する先生をお迎えしたレベルの高い研修になりました。

2回の開催とも当初の募集枠を超える応募がありました。事業承継支援は診断士にとって関心の高いテーマとなっていることがわかります。

研修の修了者には修了証書とともに「事業承継支援マスター」の称号を授与し、認定カードを発行しました。

平成30年度は事業承継税制の特例制度がスタートしましたので、事業承継支援の専門家の必要性はさらに高まります。この研修は非常にタイムリーな開催になりました。



参加者の声

「事業承継支援専門家要請研修」の様子

トータルで知識や支援内容の整理ができました。支援の現場で承継の話が絡むことも増えてきており、実践の場で経験を積みたいと思います。



参加者の声

「彩の国ビジネスアリーナ2018」セミナーの様子

ミニセミナー講師を担当しました。コンテンツ作りから試行錯誤でしたが、講師を担当した8名がそれぞれ持ち味を活かした内容になったと思います。ブースでの経営相談では、直に経営課題や事業にかけたい想いを伺うことができ、相談を受けた我々にとっても有意義でした。

県協会会員 菊地 俊光

3. 「彩の国ビジネスアリーナ2018」 出展

1月24日25日に、国内最大級のビジネスマッチングイベントとして、埼玉県他の主催の「彩の国ビジネスアリーナ2018」が埼玉スーパーアリーナで開催されました。

両日で660団体が出展し、1万7千人以上が来場しました。

県協会では、毎年経営相談会を実施していましたが、今年度は、中小企業診断士のPRを目的に、会場ブース内でミニセミナーを開催しました。

新人会員の講師育成をもう一つの目的として、講師は会員から募集し、「売上拡大」「展示会の活用」「人材活用」「助成金・補助金の活用」の4つのテーマでベテランと新人2人ペアを組み、レジュメの作成とプレゼンを行いました。